

2023年度 京都教育大学附属京都小中学校 学校評価

自己評価区分	
A	十分達成できた
B	概ね達成できた
C	十分には達成できなかった
D	ほとんど達成できなかった

② 附属学校園の機能向上に関する事項

本年度の重点目標	具体的な取組内容	自己点検評価	自己評価区分	学校関係者評価	改善策
(1) 教育研究活動の成果を公表する。	①教育創生リージョナルセンター機構との共催、京都府・市教育委員会との後援により、研究発表会を開催する。 ②大学の「大学紀要」「センター紀要」等に積極的に投稿するとともに、義務教育学校懇談会で研究成果を公表する。	*	*	*	*
(2) 大学と附属学校園とが連携した研究を実施する。	①大学教員や各附属学校園の教員と協働して、義務教育学校教育課程研究に継続して取り組むとともに、大学各学科研究や「教育研究改革・改善プロジェクト」による研究に積極的に参画する。	*	*	*	*
(3) 総合教育臨床センター学びサポート室と連携する。	①総合教育臨床センター学びサポート室共同実践者を選出し、参画する。 ②学びサポート室と本校特別支援学級研究との連携を図る。	*	*	*	*
(4) 業務改善及び教職員の働き方に関する取組を推進する。	①校務の効率化・情報化とともに、学校行事や教職員の役割分担を見直し、学校業務の適正化を図る。 ②部活動の在り方について検討し、順次実施する。	*	*	*	*

注) \*印の欄は、年度末に記載予定